

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理検証シート

基本目標	1	子育てしやすいまち
施策に関する基本的方向	1 - 1	子育て層の時間的なゆとりをつくる
具体的な施策	1 - 1 - 1	保育園の新設・機能強化

具体的な施策	施策名③	私立保育所の保育環境改善事業			
	施策内容	私立保育所において、保育ニーズに応じた利用しやすいサービスが提供されるよう、事業者に対する働きかけや支援を行います。			
	取組状況(H27年度)	私立保育所において、不足している児童の遊び、学びに欠かすことの出来ない遊具の設置に対する補助を行い、必要な取組を概ね行った。			
	取組状況についての課題等	遊具の点検等については園で行い報告義務はない状況であり、今後は市として指導・監督していきたい。			
主担当課		こども課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	改修後保育所入所児童数 / 改修前保育所入所児童数			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	100%		
	目標値	H27年度	105%	H31年度	105%
	実績値	H27年度	101%		
	未達成の場合の理由	園によっては目標値を上回っているが、一部の園において保育士の不足等により児童の受入が十分にできなかったことによる。			

園名	利用定員 ①	弾力運用の 場合①×1.2 ②	H26年度 一斉入所 ③	H27年度 一斉入所 ④	H28年度 一斉入所 ⑤	H28入所者 の定員割合 ⑤/①	H28入所者 の弾力運用 定員割合 ⑤/②	H28入所者 のH26入所者 割合 ⑤/③	H28入所者 のH27入所者 割合 ⑤/④
いこま乳児保育園	75	90	67	72	76	101%	80%	113%	106%
鹿ノ台佐保保育園	60	72	64	59	66	110%	82%	103%	112%
北倭保育園	120	144	118	126	118	98%	88%	100%	94%
あいづ生駒保育園	60	72	68	68	71	118%	94%	104%	104%
はな保育園	150	180	161	165	158	105%	92%	98%	96%
登美ヶ丘駅前ピュア保育園	120	144	124	126	108	90%	88%	87%	86%
学研 まゆみ保育園	120	144	140	137	132	110%	95%	94%	96%
うみ保育園	90	108	99	103	106	118%	95%	107%	103%
あいづ壱分保育園	100	120	85	99	108	108%	83%	127%	109%
ソフィア東生駒保育園	100	120	95	118	120	120%	98%	126%	102%
いちぶちどり保育園	100	120	98	110	116	116%	92%	118%	105%
計	1,095	1,314	1,119	1,183	1,179	109%	90%	107%	101%

※あすかの保育園、いこま保育園は応募なし

民間保育所等保育環境改善事業補助金交付決定内訳

園名	購入品	購入金額
いこま乳児保育園	ローラー滑り台	1,476,360
	築山整備	1,458,000
	計	2,934,360
北倭保育園	安田式幼児用ジャグリング I 型	2,970,000
	計	2,970,000
鹿ノ台佐保保育園	低鉄棒(移動式)	106,920
	平均台	171,720
	ぶらんこ(移動式)	139,320
	平均棒	155,520
	園庭据え置きプレイハウス	245,430
	アーチ	98,000
	ロッキング	371,300
計	1,288,210	
あいづ生駒保育園	屋外波型クライミング	2,788,560
	室内遊具システムブロック	220,000
	計	3,008,560
はな保育園	砂場	676,080
	セーフティスペース	1,807,920
	計	2,484,000
登美ヶ丘ピュア保育園	仮設工事	16,200
	左官工事	240,300
	プール設置工事	3,523,500
	計	3,780,000
学研まゆみ保育園	ろっかくステージ	3,250,000
	計	3,250,000
うみ保育園	レジャーシップアーチネット	1,794,000
	計	1,794,000
あいづ壱分保育園	枕木クライミング	1,306,600
	枕木くるくる	561,600
	ちびっこピクニック	92,880
	計	1,961,080
ソフィア東生駒保育園	人研きすべり台着地ゴムマット工事	2,970,000
	計	2,970,000
いちぶちどり保育園	安田式ミニジャングランミング	657,400
	遊具下衝撃吸収人工芝	527,000
	安田式テクノマン低年齢児用平均台	172,000
	平均棒	80,000
	計	1,436,400
全合計		27,876,610

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理検証シート

施策No. 121②

基本目標	1	子育てしやすいまち
施策に関する基本的方向	1 - 2	コミュニティ形成等を通して子育て層の精神的なゆとりをつくる
具体的な施策	1 - 2 - 1	子育て層を応援する情報提供の推進

具体的な施策	施策名②	赤ちゃんの駅普及啓発事業			
	施策内容	乳幼児とともに安心して外出できるよう、公共施設や商業施設において、オムツ替えや授乳が出来るスペース「赤ちゃんの駅」の設置を促進します。また、子育て層が子ども連れで安心して利用できる店舗や施設であることを登録し、発信します。			
	取組状況 (H27年度)	公共施設や商業施設におけるオムツ替えや授乳スペースの有無等を調査するとともに、モデルケースとして私立幼稚園・私立保育園におむつ交換台・授乳用イス・パーティションの整備を行うなど、一定の取組を行った。公共施設については、「赤ちゃんの駅」として登録できる状況である。			
	取組状況についての課題等	H27年度では、モデルスペースへの整備と「赤ちゃんの駅」ステッカーや登録依頼チラシ等を印刷した。H28年度から、商業施設へ登録の依頼を行い「赤ちゃんの駅」の増加と広報いこまち等での市民への周知を行う。			
主担当課		子育て支援総合センター			
重要業績評価指標 K P I	指標名	赤ちゃんの駅（モデルスペース）利用者数			
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***		
	目標値	H27年度	180人	H31年度	180人
	実績値	H27年度	0人		
	未達成の場合の理由	年度末に整備を終えたため。			

..... 生駒市

赤ちゃんの駅



登録施設の入口等に目印として
このシンボルマークのステッカーを掲示しています。

「赤ちゃんの駅」は、外出中におむつ替えや授乳ができる施設です。
生駒市では乳幼児のいる保護者への子育て支援の取り組みのひとつとして、
おむつ替えや授乳ができるスペースのある施設を「赤ちゃんの駅」として整備しています。

赤ちゃんとお出かけのとき、気軽にご利用ください。

学研まゆみ保育園



會津生駒保育園



基本目標	1	子育てしやすいまち
施策に関する基本的方向	1 - 3	良好な環境の中で安心して生活できる地域をつくる
具体的な施策	1 - 3 - 1	災害・犯罪等に対する安全性の向上

具体的な施策	施策名②	乳幼児を持つ世帯のための防災知識の普及啓発事業と防災用品の備蓄						
	施策内容	乳幼児をもつ世帯を対象に、身の回りの安全チェックや災害発生時の行動等の防災知識の普及啓発を行うとともに、乳幼児用の防災用品を備蓄します。						
	取組状況 (H27年度)	自主防災会対象に乳幼児を持つ世帯対象の防災備蓄品購入について補助金を交付するとともに、避難所に授乳室用パーティションと乳幼児向けの簡易ベッドを備蓄した。また、乳幼児を持つ世帯向けの防災パンフレットを作成するなど、必要な取組は全て行った。						
	取組状況についての課題等	自主防災会対象に備蓄品の補助を行ったが、子育て世代が自主防災会の活動に参加する割合が少なく、十分な周知ができなかった。子育て世代の参加しやすい自主防災活動が必要。パンフレットを使用した防災講座やセミナーの開催で啓発を行っていく。						
主担当課		防災安全課						
重要業績評価指標 K P I	指標名	防災訓練等での当該備蓄品の活用回数 (年間)		乳幼児を持つ世帯向け防災パンフレットの延べ配布数		定住意向「ずっと住みつづきたい」の割合 [子育て層] [30代]		
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	H26年度	***	H26年度	52.8%	46.5%
	目標値	H27年度	4回	H27年度	1,000部	H27年度	—	50.0%
		H31年度	4回	H31年度	5,000部	H31年度	58.0%	—
	実績値	H27年度	3回	H27年度	約1,500部	H27年度	43.0%	43.5%
	未達成の場合の理由	1月開催の防災訓練で使用する予定だったが、強風のためパーティションを設置することができず、活用できなかった。						実施事業の完了が年度後半になった為、住民への周知期間が不十分であったことが要因と考えられる。

1. 自主防災会への乳幼児世帯向け防災備品の購入補助

No.	自主防災会	補助金確定額	No.	自主防災会	補助金確定額
1	萩の台住宅地	52,000	9	獅子ヶ丘	56,000
2	西白庭台一丁目	66,000	10	中菜畑一丁目	68,000
3	翠光台	69,000	11	南喜里が丘	69,000
4	喜里が丘一丁目	69,000	12	美鹿の台	49,000
5	さつき台	31,000	13	東生駒月見町第一ガーデンハイツ	70,000
6	北大和四丁目	68,000	14	白庭台	70,000
7	北大和二丁目	69,000	15	真弓南	70,000
8	鹿ノ台	69,000	16	あすか野	70,000
補助金合計額					¥1,015,000

2. 乳幼児を持つ世帯向け防災用備蓄品の購入

市内12箇所に設置の防災コンテナに避難所用の備蓄品として2台ずつ備蓄

授乳室用パーテーション 24台	1,280,448
乳児用簡易ベット 24台	229,392
合計金額	¥1,509,840

3. 乳幼児を持つ世帯向けの防災パンフレット

災害時には特に支援が必要な乳幼児を持つ世帯に特化した防災情報をパンフレットにまとめ、防災知識の向上を図る。健康課・こども課・子育て総合支援センター・国保医療課等での窓口配布や妊産婦対象のパパママ教室などで配布

「妊娠中のママから子育て家族のための防災BOOK」 5,000部	¥672,516
----------------------------------	----------

計画額	¥3,256,000
実績額	¥3,197,356

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理検証シート

施策No. 221②

基本目標	2	母親が希望のしごとをできるまち
施策に関する基本的方向	2-2	市内での雇用を生み出す事業活動を伸ばす
具体的な施策	2-2-1	市内産業の活性化

具体的な施策	施策名②	設備導入等支援事業			
	施策内容	事業拡大や生産性を向上させるため、事業所を対象に、機器購入や事業所の改装等に係る経費について補助を行います。			
	取組状況 (H27年度)	機器購入等の経費（5,000万円を上限）の10%の補助（500万円を補助）を行い、合計12件の商工業者の事業に対して、合計1,700万円の補助金（計1億7000万円の10%）を交付し、必要な取組を全て行った。			
	取組状況についての課題等	各申請事業の申請額が、想定よりも多かったため、結果的に制度を利用できる事業者が少なくなった。			
主担当課		経済振興課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	機器設備導入企業における売上増 [累計] 平成26年度比		機器導入件数 [累計]	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	H26年度	***
	目標値	H27年度	2.0%	H27年度	24件
		H31年度	2.0%	H31年度	24件
	実績値	H27年度	—	H27年度	12件
	未達成の場合の理由	9月決算の企業があり、27年度実績が確定するのは11月になるため		機器導入・事業所の改装等について一件あたりの事業規模が大きかったため	

中小企業・事業所経営の皆様へ 設備導入等事業支援補助金のご案内

生駒市では、中小企業・事業所の経営者の皆様にご利用いただける
事業拡大等に係る設備導入事業を支援するための補助金制度を設けました！

■こんな目的にご利用ください

- ・事業拡大、生産を効率化させたい
- ・お客様の利便性を向上させたい

■こんな設備導入に使えます

- ・機器購入に係る経費の一部
- ・事業所の改装等に係る経費の一部
- ・ソフトウェアの購入に係る経費の一部



■補助金額は経費の10パーセント※

パターン1：機器購入や事業所の改装等の場合

対象経費は、300万円～5,000万円

経費が5,000万円を超える場合は、5,000万円までが対象となります

パターン2：ソフトウェアの購入の場合

対象経費は、50万円～200万円

経費が200万円を超える場合は、200万円までが対象となります

※100円未満は切り捨て。申請時の経費が対象となりますので、経費が増額した場合は10パーセント以下になる場合があります。予算額に達した時点で締切となります。

■対象となる事業者

- ・【法人】生駒市内において、1年以上事業を営む事業者
- ・【個人】生駒市内において、1年以上事業を営む市内に住所を有する事業者

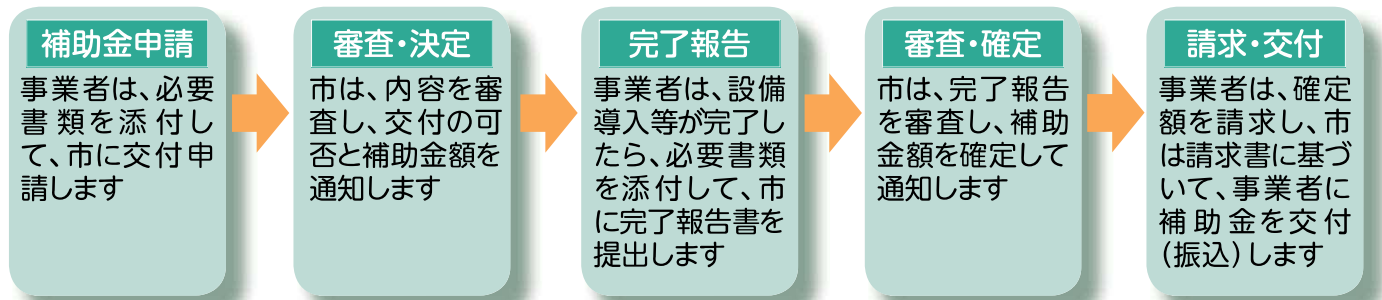
【利用できない事業所・業種等】※一部補助対象にならない経費もあります

- 市税を滞納しているもの
- 同事業でほかの補助金を受けているもの
- 農業（作物の生産性を向上させるための施設、工場的生産設備を有し、新たに機器を導入するものを除く）
- 金融・保険業（生保・損保代理店を除く）
- 不動産業（店舗等の改装で顧客増加を見込めるものを除く）
- 風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律第2条に規定する事業者（食事提供を主目的とするものを除く）
- 探偵等の業務の適正化に関する法律に規定する事業者
- 集金業・取立業（公共料金に係るものを除く）
- 政治・経済・文化団体
- 宗教法人法に規定する宗教法人
- 非営利事業者

まずは、ご相談ください

「生駒市設備導入等事業支援補助金事業」は、国の地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地域創生先行型)を利用し、総額1,700万円の予算(平成27年5月1日現在)の範囲内で、設備導入等を行う事業者様に、その経費の一部を補助するものです。まずは、お気軽にご相談ください。

■補助金交付の手順



補助金の申請受付は、平成28年1月31日が締切です。
申請書は提出順に受け付けますが、補助金総額が予算額に達した時点で、申請の受付は終了します。
機器導入等の前後の四半期(3カ月)の売上げが分かる書類を提出していただきます。

■必要書類

【申請時にそろえる書類】

- ◆設備導入等補助金交付申請書(様式1号)
- ◆事業計画書(様式2号)
- ◆収支予算書(任意様式)
- ◆設備導入等の購入に係る見積書及びその明細のコピー
- ◆設備導入等の内容が分かる書類(任意様式)
- ◆【個人事業者】住民票(3カ月以内に発行のもの)
- ◆【個人事業者】直近2期分の確定申告書のコピー
- ◆【法人】法人の登記事項証明書(3カ月以内に発行のもの)
- ◆【法人】直近2期分の決算書のコピー
- ◆暴力団排除に係る誓約書(様式3号)

【完了時にそろえる書類】

- ◆完了報告書(様式5号)
- ◆補助対象経費に係る請求明細の分かるもの(任意様式)
- ◆補助対象経費に係る領収書及び契約書のコピー
- ◆整備導入等(ソフトウェア購入は除く)の着手前と完了時の写真
- ◆市税の納付状況確認同意書(様式6号)



お問い合わせ・ご相談

生駒市役所 経済振興課 電話:0743-74-1111

<https://www.city.ikoma.lg.jp/kashitsu/03600/>



生駒市 たけまるくん #0033

平成27年5月

平成27年度 設備導入等事業支援補助金 交付実績一覧表

	申請者名	業種	事業名	内容	補助金決定額
1	A事業所	工作機械用工具保持具の開発・製造業	高効率・高機能工作機械導入によるツールホルダの自動化生産推進事業	高効率・高機能工作機械導入	5,000,000円
2	B事業所	理容業	機器導入・改装事業	シャンプー台用いす等の機器導入、新店舗新装工事	2,165,600円
3	C事業所	家電製品販売業	太陽光発電設備導入事業	太陽光発電システム等導入、設置工事	750,100円
4	D事業所	金属加工業	バネ製造機更新事業	バネ製造機の導入	734,400円
5	E事業所	管工事業	水道申請/本管工事用CAD購入	水道申請用ソフトウェア導入	118,800円
6	F事業所	広告業	インクジェットプリンタ導入及び付帯物購入、その他改修工事	トイレと階段の改修、インクジェットプリンターと付帯物の導入	501,300円
7	G事業所	小売業	新規店舗改装事業	新店舗改装、商業車と付属機器導入	844,900円
8	H事業所	税理士事務所	事務所移転に伴う機器及び設備購入及び事業所改装事業	移転後店舗の内装工事、通信・セキュリティ機器等設置費	1,478,000円
9	I事業所	木工家具製造業	フォークリフト導入	フォークリフト3台導入	529,100円
10	J事業所	自動車用部品製造業	プレス製品売上拡大及び溶接生産効率向上事業	溶接ロボット導入、300tプレス機導入・設置工事 他	2,660,000円
11	K事業所	釣具製造・販売業	営業効率化(釣具製造・販売事業)を目的とした自家用小型貨物車の購入	自家用小型貨物車1台と付属品の導入	387,800円
12	L事業所	医療用機器製造業	手術器具原材料加工機械導入事業	研削盤等の機器導入	1,830,000円
合計					17,000,000円

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理検証シート

施策No. 314④

基本目標	3	子育て層（特に女性）が転入したいまち
施策に関する基本的方向	3-1	子育て層（特に女性）に住みやすいまちづくり
具体的な施策	3-1-4	協働による魅力創造

具体的な施策	施策名①	生駒の魅力発信プロジェクト			
	施策内容	市民PRチーム「いこまち宣伝部」の運用などにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。「生駒はいいまちだ」というロコミのチカラで、発信力を強化し、主体的にまちに関わる人を増やします。			
	取組状況(H27年度)	いこまち宣伝部フェイスブックチーム(10人)と共に市公式フェイスブック「まんてんいこま」、CMチーム(15人)と共にシネアドを制作。また、商店街のファッションショー、親子向け音楽会を動画にして魅力を視覚化するなど、必要な取組を概ね行った。			
	取組状況についての課題等	いこまち宣伝部や、動画の被写体になった市民団体や事業者からは「まちのために何かしたい」という感想をもらい、シビックプライドが醸成された取組であった。今後は無関心層に向けた働きかけも検討する必要がある。			
担当当課		いこまの魅力創造課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合		生駒市への居住を人に薦めたい人の割合	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	58.5%	H26年度	50.3%
	目標値	H27年度	59.1%	H27年度	50.9%
		H31年度	61.5%	H31年度	53.3%
	実績値	H27年度	53.7%	H27年度	53.7%
	未達成の場合の理由	まちへの誇りの醸成は単一事業で短期的な結果を出すことが困難であるため。			

1 いこまち宣伝部の運用

まちのPRは行政だけでは宣伝色が強くなり、公平性を担保するために行政施策以外のことを発信しにくいというデメリットがあるため、生駒に住む人にまちをPRしてもらおう「いこまち宣伝部」を発足。初年度となる平成27年度は「1分間CM制作チーム」と「市公式フェイスブックチーム」の二つのチームを立ち上げた。

どちらも、18歳～49歳が対象。まちを見直すことで、魅力を再発見し、シビックプライドの醸成につながるという効果もあった。

1分間CM制作チームの映画は、平成27年11月7日～平成28年2月5日の3か月間、大阪ステーションシネマ（梅田）、なんばパークスシネマ（難波）、MOVIX八尾（八尾）の全スクリーンで放映。期間中、73万7千人の集客があったため、同等の人数が視聴した。



2 ショートムービーの作成

魅力発信プロジェクト「まんてんいこま～まちで楽しみ まちで輝く～」を視覚化し、共感形成のための動画を2本作成。

- ・0歳から楽しむファミリーコンサート

フェイスブック再生回数 11679回、You tube 再生回数 708回

シェア数 348

- ・IKOMA SELECT FASHION SHOW

フェイスブック再生回数 9958回、You tube 再生回数 2040回

シェア数 119

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理検証シート

施策No. 321④

基本目標	3	子育て層（特に女性）が転入したいまち
施策に関する基本的方向	3 - 2	生駒の認知度や都市ブランド力を向上させる
具体的な施策	3 - 2 - 1	まちの魅力発信

具体的な施策	施策名①	子育て・教育環境の良さを効果的に発信			
	施策内容	「暮らしやすいまち、生駒」の魅力や、事業者との協働によるバスツアー実施や市民等との協働によるPRサイトの構築などで広く伝える。			
	取組状況(H27年度)	バスツアー・魅力体感ツアーを各1回ずつ実施。PRサイトを10月1日から稼働、市民が生駒の良さを語るコンテンツをメインに据えた。その他、定住促進リーフレット「育まち、いこま」を市内不動産業者で配布するなど、必要な取組を概ね行った。			
	取組状況についての課題等	移住先を探しているが、まだ生駒に興味のない層にどう働きかけるか、シネアドなどの広告との関連性も検討しながら、リーフレット設置場所やPRサイトのコンテンツ精査に取り組む必要がある。			
主担当課		いこまの魅力創造課・建築課			
重要業績評価指標 KPI	指標名	PRサイトユニークユーザー数		子育て層の転入者数	
	現状値 (総合戦略策定時)	H26年度	***	H25年	1,179人
	目標値	H27年度	2,500人	H27年	1,200人
		H31年度	2,500人	H31年	1,238人
	実績値	H27年度	5,650人	H27年	1,087人
	未達成の場合の理由	魅力発信が子育て層の転入者増という成果を得るには、市外の方への情報の浸透等に時間を要すると考えられるため。			

※「育まち、いこま」の製作費については、地方創生先行型交付金の対象外としています。

1 バスツアー・魅力体感ツアーの実施

2014年6月、近畿日本鉄道(株)が既存住宅の活用・流通促進を目的とする「住宅団地型既存住宅流通促進モデル」に選ばれる。これを推進するため、本市と「まちづくりに関する基本協定」を締結。バスツアーはこの協定に基づくもので、市内をバスで回ったり、ランチを楽しんだりしながら、子育て・教育施策や補助金を活用した住み替え情報を紹介した。



- ・生駒住み良さ実感バスツアー 8月30日(日) [午前・午後の部 計2回]
応募人数 28組67名 / 参加人数 19組46名
- ・生駒体感フェア 11月8日(日) [午前・午後の部 計2回]
応募人数 18組43名 / 参加人数 15組37名

2 PRサイトの構築

9年ぶりの市ホームページのリニューアルに合わせて、居住先を考えている子育て世代に向けたPRサイトを構築した。子育て・教育施策だけでなく、まち歩きのコーナーや飲食店を紹介するコンテンツも用意し、SNSとも連動している。

メインコンテンツは、生駒に住む家族がまちの良さを話す「住んで幸せいこま心地」と連動させ、市公式フェイスブックでも定期的に紹介。公開2か月間のPV数は24,000を超えた。



3 転入促進リーフレット「育マチ、いこま」

大阪から転入した家族モデルを表紙に、生駒市の魅力や子育て・教育施策をまとめたA4三つ折りのリーフレットを作成。市内不動産業者(約70社)窓口、市内主要駅(近鉄生駒駅、白庭台駅)、生駒山上遊園地、生駒山録公園の窓口、飲食店などで年間合計10,000枚を配布した。

